

令和 7 年度 第 2 回瑞浪市国民健康保険運営協議会議事録

日 時 令和 8 年 2 月 25 日（水） 13 時 30 分～14 時 20 分

場 所 瑞浪市役所 全員協議会室

出席者 ・ 被保険者代表 羽柴千世、安藤士月、加藤さなよ、大井圭子

・ 保険医薬剤師代表 野田和也、水野照久、計良雅之

・ 公益代表 土本直人、景山英明、加藤誠二

・ 被用者保険代表 柘植直哉

・ 事務局 健康福祉部長 小木曾昌弘

保険年金課長 鈴木友恵

課長補佐兼国保係長 奥村新子

国保係主査 西尾早貴

欠席者 ・ 保険医薬剤師代表 江口 研

・ 公益代表 野々垣直美

議事録署名者 羽柴千世、安藤士月

傍聴者 なし

---

保険年金課長進行

事 務 局 保険者、事務局紹介

会 長 本日は、令和 8 年度予算（案）をはじめとして、国民健康保険の運営に関する事項についての報告をいただくことになっております。委員の皆様におかれましては、活発なご発言をお願いしたいと思います。会議の円滑な進行に努めて参りますので、皆様のご協力をお願いいたします。

それでは、ただいまより、令和 7 年度第 2 回瑞浪市国民健康保険運営協力協議会を開催いたします。

本日の会議の成立につきまして、事務局より報告をお願いいたします。

事務局 委員 13 名中 11 名の出席で会議成立を報告

委員紹介 新委員 安藤委員 自己紹介

会長 本日の協議会を公開の対象とする。傍聴人なし。

部長挨拶 本日は、大変お忙しい中、当協議会にご出席賜り誠にありがとうございます。

瑞浪市の国民健康保険の現状でございますが、団塊の世代の皆様の後期高齢者医療保険への移行に伴い、国保加入者数は大きく減少しています。そのため、療養給付費の総額は減少傾向にありますが、一人当たりの療養給付費は依然として増加をしております。これは岐阜県全体で見ても同様の傾向にあります。医療費の増額は保険料の増額へ繋がりますので医療費の適正化が肝要であると考えております。

国民健康保険の動向としましては、保険証の新規発行が令和 6 年 12 月に停止され、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行され約 1 年が経過いたしました。瑞浪市の国民健康保険加入者の約 8 割弱の方が、マイナ保険証を持っておられ、その利用率は約 75%と高くなって参りました。

また保険料に関しましては、令和 8 年度 4 月より、新たに「子ども・子育て支援納付金」が医療保険料等と合わせて、徴収されます。この子ども子育て支援納付金につきましては、後ほど報告をさせていただきます。

本日は、令和 8 年度当初予算（案）の概要について、子ども・子育て支援納付金について、その他保健事業について報告をさせていただきます。皆様には忌憚のないご意見を願います。

会長 議事録署名者の指名 羽柴委員、安藤委員  
報告事項について、事務局より報告をお願いいたします。

報告事項 (1) 令和 8 年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計予算（案）について  
事務局 奥村 説明

委員質疑 特定健診について、国の目標値は受診率 60%ですが、本市では、まずは 45%を目標にしていくと説明がありました。集団健診は従前、東濃厚生病院に委託していたと思いますが、令和 8 年度以降はどのように実施しますか。

事務局 集団健診に関しましては、令和6年度までは、東濃厚生病院で5日、釜戸・陶・稲津のコミュニティーセンターで各1日ずつ、計8日実施していたのですが、令和7年度は病院の移転の影響で日数はかなり減り、東濃厚生病院で2日、市の保健センターに医師を派遣していただいて2日、計4日実施しました。次年度以降の詳細については、現時点ではまだ決定していませんが、予定としましては、東濃厚生病院の健康管理センターが今後改修され、診療所となるとのことですので、そちらで3日から5日ほど集団健診が実施できれば、被保険者の皆さんが受診しやすいのかなと考えております。

委員質疑 保健事業の人間ドックの補助金について、助成金1万5000円／人ということで計上してありますが、特定健診の実施率39%の中に人間ドック助成金制度を利用している方の分も入っていますか。

事務局 入っております。

委員質疑 保険組合の方では、特定健診よりも人間ドック助成金制度のほうをメインで実施していますが、日帰りの人間ドックの費用は3万円から4万円以上と大分上がってきておまして、今年度から見直しをしました。また、協会けんぽでは、1人当たりの助成金額を2万5000円とするようです。一度助成金額を下げたときに、受診率が大幅に下がったという経緯もあり、金額を見直して受診率を上げていこうという考えもあります。こちらの人間ドック助成金というのは、市町村はすべて一緒なのでしょうか。

事務局 人間ドックの助成につきましては、市町村が独自でやっている事業ですので、1万5000円というのは瑞浪市の独自の金額です。近隣市では、もう少し低い額のところもあります。被保険者の数は大幅に減っていますが、人間ドックの助成件数は減ることなく一定の人数が維持されているため、ニーズが高いという認識ではあります。

報告事項 (2) 「子ども・子育て支援納付金」について

事務局 鈴木 説明

委員質疑なし

- 報告事項 (3) 保健事業等について
- ① 保健事業実施計画（データヘルス計画）について
  - ② 重複・多剤に関する取り組みについて
  - ③ その他（バイオシミラーについて）

事務局 奥村 説明

委員質疑なし

- その他 瑞浪市国民健康保険料の仮算定の廃止について 進捗状況報告
- 事務局 奥村 説明

- 会長 議事全体を通して、ご意見等ございましたら、お願いします。

委員質疑なし

保険年金課長挨拶

閉 会